

令和5年第18回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年7月13日(木) 午前10時50分～午後3時5分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時50分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 山本首席監察官
笠田生活安全部長 加藤刑事部長 前田交通部長
岡山警備部長 植木警察学校長 坂口情報通信部長
足羽警務部参事官

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 鳥取県議会令和5年6月定例会の結果(警務部)
- タクシー強盗殺人事件情報提供要請街頭広報等の実施(刑事部)
- 「全日本トライアスロン皆生大会」に伴う交通対策(交通部)

(1) 鳥取県議会令和5年6月定例会の結果(警務部)

警察本部

令和5年6月定例会は、22日間の会期を終え、6月30日に閉会した。警察関係の議案は、5議案が審議され、可決された。

代表質問は、県議会自由民主党の斉木正一議員から、「巧妙化する特殊詐欺から県民を守る方策」などについて質問があり、本部長は、「警察職員による日常的な各種防犯活動はもとより、引き続き、テレビや新聞等のマスメディアの御

協力をいただきながら、多角的な広報を実施して、県民一人一人が、特殊詐欺の被害は『自分のこと』という風に危機意識を持っていただけるように努めていく。」旨を答弁した。

一般質問は、県議会自由民主党の福田俊史議員及び無所属の平井伸治議員から質問があった。福田議員からは、「中山間地域における駐在所の在り方、駐在所への人材配置」等に関する質問、平井議員からは、「第2期鳥取県再犯防止推進計画における警察の対応」等に関する質問があり、それぞれ本部長が答弁した。

常任委員会では、2件の報告を行った。

委員

代表質問では、県民の関心が高い特殊詐欺に関する質問があり、本部長から適切な答弁をしていただいた。また、一般質問では、警察行政に深い関心を持って頂いている議員から質問があり、これについても適切に答弁していただいている。

社会構造の変化に対応した治安対策は全国的な問題であるので、今後もしっかり対応していかなければならないことである。

委員

各質問に対し、本部長には県民が安心し、信頼を得られるような、丁寧な答弁をしていただいている。引き続き、県民に対しては丁寧な対応をお願いする。

(2) タクシー強盗殺人事件情報提供要請街頭広報等の実施（刑事部）

警察本部

平成21年7月17日、鳥取市立川町六丁目地内において発生したタクシー強盗殺人事件に関する情報を広く求めるための街頭広報を実施する。

街頭広報は、7月17日午後0時から午後1時までの間、JR鳥取駅北口及び南口周辺において、同日午後3時から午後3時30分までの間、イオンモール鳥取北店及びスーパーセンタートライアル鳥取大杵店の出入口において行う。

街頭広報では、JR鳥取駅、イオン及びトライアルの施設利用者に対して携帯ティッシュを配布するとともに鳥取市内をパトカーで流動し、広報を実施する。県下各警察署においては、鳥取市内の街頭広報実施に合わせて、パトカーの車載スピーカーで放送しながら、自署管内を流動広報して、情報提供を呼び掛ける。また、事件を風化させることのないよう、捜査特別報奨金が記載された新しい広報用ポスターの点検、貼り替えを行うとともに、新たな掲示場所を開拓し、県民に対して広く情報提供を呼び掛けているところである。

令和2年度から、県警察ホームページに加え、FacebookやYouTubeへの動画掲載を行い、情報提供を求めているところであるが、捜査特別報奨金事

件指定に関する内容等を加えた新作動画を作成し、「鳥取県警察公式チャンネル」に7月17日から掲載予定である。

委員

動画を視聴したが、当時の記憶が蘇ってきた。動画掲載は非常に広報の効果が大きく、良い取組であると思う。少しでも有力な情報を提供していただけたらと思うし、県警察がこのような諦めずに犯人を追い続けているという姿勢が、県民の心の救いになると思う。引き続き、頑張ってください。

委員

動画は、県警察の職員が作成したということだが、こういうものを活用しながら、事件を風化させないよう、情報提供を呼び掛けていく必要がある。捜査特別報奨金の制度が情報提供につながればとも思う。

(3)「全日本トライアスロン皆生大会」に伴う交通対策（交通部）

警察本部

全日本トライアスロン皆生大会は、国内初のトライアスロン大会として、昭和56年に第1回大会が開催され、今回で41回目の大会となる。昨年は、距離を短縮して開催されたが、今年は4年ぶりにコロナ禍前と同じ総距離183キロでの開催となる。

7月16日午前7時に競技開始で、主催は皆生トライアスロン協会である。競技は、山陰信販皆生プレイパーク海岸をスタートし、スイム3キロ、バイク140キロ、ラン40キロを走り、ドラドラパーク米子陸上競技場がゴールとなる。競技には、個人992人、リレー50組163人、クラブ対抗12チームが参加する。主催者側でコースや渋滞予測等の事前の広報のほか、当日は、警備員、交通安全指導員及びボランティア等による自主警備体制を構築して、選手が安全にゴールできるようサポートすることとなっている。

警察が行う交通対策として、県内4署の管内を走行するため、警察署長による交通規制や信号機制御等の必要な交通対策を実施することとしている。正式な競技の開催は4年ぶりとなることから、大会主催者側と十分に情報を共有し、選手や関係者の安全の確保と、道路交通の円滑化を図っていきたい。

委員

この全日本トライアスロン皆生大会は、日本で初めてのトライアスロン大会ということで、大変誇らしい。大山を背景に最高のロケーションで走行できる大会であり、是非、世界を代表するような大会の1つに育ててほしいと思っている。そういう大会にするためには、安全な大会運営が大前提になるので、県警察の皆様は大変だと思うが、しっかりと安全の確保をお願いしたい。

委員

安全に大会が進むように、選手だけでなく、交通規制等の業務にあたる警察官も暑さ対策、体調管理をしっかりとっていただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 報告事項

- ・ 中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・ 犯罪被害者等給付金支給関係
- ・ 犯罪被害者等早期援助団体からの令和4年度事業報告書等の提出
- ・ 監察報告
- ・ タクシー強盗殺人事件情報提供要請広報

4 決裁

運転免許技能試験官の指定

5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。